

《担当者名》福井 純子 [ sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp ]

### 【概要】

既習の知識を基に、組織における看護管理上の課題とその解決に向けて必要となる理論やその活用について学修する。その上で課題を整理し、その解決に向けた方策について探求する。

### 【学修目標】

1. 現在の看護管理における課題について概観した上で、自組織の課題について比較して整理できる。
2. 組織運営および地域連携における看護管理者が担う役割について理解し、自組織における看護管理上の課題と解決に向けた方策を検討できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	現在の看護管理における課題の概観	現在の社会・医療の現状を踏まえ、看護管理領域における課題を整理する。 自組織の現状との比較から、課題の明確化を図る。	福井
3 ) 4	組織における看護管理者の役割	組織論、組織変革についての理論について整理して理解する。組織分析の手法を用いて、自組織の現状と課題を整理する。	福井
5 ) 6	組織変革に活用するナレッジマネジメント	ナレッジマネジメントの視点について理解し、自組織での看護管理の実践について考察する。	福井
7 ) 8	医療・看護の可視化と質評価	医療・看護の可視化と質評価について考察し、自組織での取り組みの可能性について探求する。	福井
9 ) 10	チーム医療の推進における看護管理者の役割	チーム医療や多職種との協働に関する考え方について整理し、自組織における課題と取り組みについて探求する。	福井
11 ) 12	高齢化社会における社会福祉の現状と看護管理	介護保険制度について理解するとともに、高齢化社会における在宅医療・福祉の現状について学び、自組織の果たす役割について考察する。	今野多美子（特別講師）
13 ) 15	統合) 看護管理セミナーの企画・運営への応用	看護管理学に関する既習の知識を基に、現在の看護管理者の学習ニーズを導き出し、看護管理者を対象としたセミナーの企画・運営に携わる。運営に伴う他施設の看護管理者との調整・交流をはかる。セミナーでの学びの自組織における活用可能性について探求する。	福井

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、ディスカッション（40%）、小レポート（30%）を通して総合的に評価する。

### 【教科書】

- 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・第1巻,日本看護協会出版会。  
 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・第2巻,日本看護協会出版会。  
 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・第3巻,日本看護協会出版会。  
 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・第4巻,日本看護協会出版会。  
 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・第5巻,日本看護協会出版会。  
 井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版・別巻 看護管理基本資料集,日本看護協会出版会。

**【参考書】**

- 1) 金井壽宏 (2004) : 組織変革のビジョン, 光文社新書 .
- 2) 大串正樹 (2007) : ナレッジマネジメント, 医学書院 .
- 3) 遠藤功 (2014) : 現場論: 「非凡な現場」をつくる論理と実践, 東洋経済新報社 .
- 4) 勝原裕美子 (2013) : 看護の「可視化」, 日本看護管理学会誌, 17 (2) , 109-115 .
- 5) 遠藤功 (2005) : 見える化, 東洋経済新報社 .
- 6) 細田満和子 (2012) : チーム医療と何か, 日本看護協会出版会 .

**【備考】**

ゼミナール形式で、文献購読及びプレゼンテーションとディスカッションを中心に授業をすすめる。

**【学修の準備】**

各授業テーマに関連する内容について、教科書（看護管理学習テキスト）の該当部分の通読をしておくこと。  
プレゼンテーションは、参考書及びテーマに関連する研究論文を用いて理論の理解を深める。その上で、自組織のおかれている現状や看護管理者としての自分自身の課題と照らし合わせて授業に備えること。